

千成倶楽部7勝4敗の成績でリーグ戦終了! いざ県大会へ!!

県大会組合せ決定 初戦は黒石市野球協会OB

創部22年目、優勝2回の名門 千成倶楽部は、平成30年度リーグ戦は、前半戦の5連勝などで7勝4敗の成績を残して県大会に臨むことになりました。

8月4日には第25回青森県熟年野球選手権大会の開会式が行われ、10年連続(通算13回目)の県大会出場となる千成倶楽部の緒戦の相手は、南黒地区の黒石市野球協会OB(9月23日(日) いちよう公園野球場(おいらせ町) 8:30試合開始)と決定しました。

対戦相手の黒石市野球協会OBは、千成倶楽部としては初顔合わせとなりますが、40歳代を中心としたチームで、平成29年度は千成倶楽部が苦敗を喫した佐藤取上医院と2-5の接戦をするなど、県大会常連の好チームです。

創部22年目の名門千成倶楽部は、平成29年度の県大会で2勝を挙げるなど、実績は十分です。今年度の県大会も、コンディションを整えて臨みましょう! これからの日程は次のとおりです。

8月25日(土) 18:00 県大会結団式 居酒屋「せんなり」 会費4,000円 差入歓迎

9月 9日(日) 14:00~16:00 練習(サンドームBグラウンド)

9月15日(土) 13:00~16:00 裁判所チームと練習試合(スポーツ広場球場)
※詳細は後日お知らせします。

9月23日(日) 8:30試合開始 黒石市野球協会OB戦(いちよう公園野球場) 7:30集合

※いちよう公園野球場: おいらせ町堤田130

(青森市より、十和田市から国道45号線に入り(又は第二みちのく有料~百石道路で「下田百石」インター下車)、イオンモール下田前を八戸方面に直進、「自由の女神像」がある「いちよう公園」内)

◎平成30年度リーグ戦速報

7月15日(第9戦 6勝3敗) 小湊中学校グラウンド

千成倶楽部	4	4	1	0	1	0	0	10	菊池、嶋一、佐藤央、濱田
CRUSH	0	0	0	2	0	2	4	8	笠島一、福田

- ・本塁打: 山宮2(満塁1)、齋藤(千)、山口、笠島(C)
- ・三塁打: 嶋(千)、佐々木(C)
- ・二塁打: 佐藤央、嶋、柳谷、齋藤、菊池、佐藤泰(千)、笠島、福田(C)

**齋藤、山宮の本塁打攻勢！後半の猛追を凌ぎ連敗脱出！
山宮シーズン第3号で2本目の満塁本塁打！！**

千成は1回表、2番齋藤、3番山宮の連続柵越え本塁打から、5番佐藤央、6番嶋の連続二塁打などで4点を先制した。2回表にも無死満塁から3番山宮が今シーズン第3号で2本目となる圧巻の満塁本塁打で4点を追加して試合の主導権を握った。

3回表には1番柳谷の中越二塁打、5回表にも7番菊池のレフトへの二塁打を足掛かりにそれぞれ1点を追加した。

粘るCRUSHは、4回裏に2安打とエラーで2点を返すと、6回裏には2番山口の本塁打などで2点、7回裏にも3番笠島の2点本塁打などで4点を返すも、千成はリリーフの嶋で逃げ切った。

千成はこれで3連敗を脱出した。

7月15日（第10戦 7勝3敗）小湊中グラウンド

千成倶楽部	0	2	2	0	2	0		6	嶋一濱田
永球会フォーエバーII	2	0	0	0	0	0		2	畑内、柿崎一和島哲

- ・三塁打：中村（千）、市川（永）
- ・二塁打：山宮（千）、北村、畑内（永）

4番佐藤泰復活の2打点！ 嶋完投で2勝目！！

永球会で2点を先制された千成は、2回表に5番佐藤央、7番古川の安打から9番山谷の内野安打と相手の守備の乱れで同点に追いついた。3回表には1番柳谷の四球、3番山宮のレフトへの二塁打による1死二、三塁から4番佐藤泰の内野ゴロと5番佐藤央の中犠飛で逆転した。

5回表にも、左中間三塁打の2番中村を4番佐藤泰が右前タイムリーで還し、さらに相手の守備の乱れで1点を追加して試合を決めた。

千成の嶋は、2回以降は永球会を無得点に抑え、守備陣もライト佐藤泰の好捕などで盛り立てた。

7月29日（第11戦 7勝4敗）あおしん球場

千成倶楽部	2	3	1	0	0			6	鷲尾、嶋一濱田、佐藤央
五鉄ドジャース	4	2	5	4	×			15	江良一佐藤

- ・三塁打：柳谷（千）、小野（五）
- ・二塁打：柳谷（千）、後藤2、佐藤、宇恵野、和泉、森（五）

壮絶な打撃戦、後半力尽きて最終戦白星ならず・・・

千成は1回表、1番柳谷のライトへの二塁打から、2番齋藤、3番嶋の3連打と5番佐藤央のタイムリーで2点を先制。五鉄に4点を入れられて逆転された2回表には、8番濱田、9番山谷、1番柳谷の3連打で3点を挙げて再逆転した。

2回裏には五鉄に2点をあげられて再々逆転されるも、3回表の千成は8番濱田のタイムリーで6対6の同点に持ち込むという打撃戦を展開した。

しかし千成は、勢いに乗る五鉄に3回裏4安打2四球で5点を追加されて先発鷲尾が力尽き、4回裏からリリーフの嶋も五鉄の勢いを止めることができず4点を追加されて試合は決した。

5回表の千成は、今季から復帰の藤田、佐々木が代打で登場し存在感をアピールした。